

## 科 目 名

# 東洋美術史 History of Eastern Art

1年 通年 4単位 選択

永 田 郁  
中 西 真美子

## 概 要

ギリシア・ローマの古典的伝統とキリスト教の信仰を基盤とした西洋文明に対して、東洋の文明は必ずしも一体であり一貫しているというわけではなく、大きく三つの文明圏に分けて考えることができる。すなわち、一つは東アジア文明圏、一つは仏教・ヒンドゥー教を中心とするインド文明圏、そしてイスラムの信仰を核とする西アジア文明圏である。それらのうちインドの美術と、日本美術とも特に関係の濃密な中国の美術について、代表的な作品を見ながら概観する。

## 目 標

東洋、特にインドと中国の美術について、そして日本の美術に及んだ様々な影響について基礎的な知識を身につけ、個々の作品に対する鑑賞能力を高める。

## 授業計画

- | 前 期 (インド美術編)                        | 後 期 (中国美術編)                 |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| ① 序論：アジア美術の中のインド美術                  | ① 殷周・戦国時代の美術                |
| ② インダス文明                            | ② 秦漢時代の美術                   |
| ③ マウリヤ朝の美術：アショーカ王柱                  | ③ 魏晋・南北朝時代の美術(1)：仏教美術       |
| ④ 民間信仰の造形                           | ④ 魏晋・南北朝時代の美術(2)：日本美術との関わり  |
| ⑤ 仏教美術の開花(1)：パールフット                 | ⑤ 唐時代の美術(1)：中国古代の国際様式       |
| ⑥ 仏教美術の開花(2)：サーンチー                  | ⑥ 唐時代の美術(2)：日本美術との関わり       |
| ⑦ 仏教石窟寺院の世界(1)：前期石窟寺院               | ⑦ 宋・元時代の美術(1)：北宋絵画と南宋絵画を中心に |
| ⑧ クシャーナ朝の美術(1)：ガンダーラ美術              | ⑧ 宋・元時代の美術(2)：日本美術との関わり     |
| ⑨ クシャーナ朝の美術(2)：マトゥラー美術              |                             |
| ⑩ クシャーナ朝の美術(3)：ヒンドゥー教美術<br>とジャイナ教美術 |                             |
| ⑪ 南インドの仏教美術(1)：アマラーヴァティー            |                             |
| ⑫ 南インドの仏教美術(2)：ナーガールジュナコンダ          |                             |
| ⑬ グプタ朝の美術：古典様式の仏像の成立                |                             |
| ⑭ 仏教石窟寺院の世界(2)：後期石窟寺院               |                             |

## 評価方法

出席状況と学期末の定期試験で評価する。

## 教 材

特にテキストは使用しない。参考文献その他については授業中に適宜紹介していく。